

実直！安心！小倉建設

2025.12月号

まいるレター

～わくわくしちゃう家づくり～

vol.065

ごあいさつ

今年も残すところあと一ヶ月となりました。皆様はどんな1年でしたか？弊社創業者である十四年(とよとし)は12月6日で満100歳を迎えます。敬老の日には内閣総理大臣からお祝い状をいただきました。創業者が百寿を無事迎えられた節目に、あらためて小倉建設の歩んできた軌跡をここでご紹介したいと思います。

三代目 小倉一弥

100歳記念のお祝い状

三原市役所の方が総理大臣からのお祝い状を届けてくださいました。記念品の銀杯もいただき、祖父も嬉しそうな表情。祖父が「どして金じゃなく銀なんかのお・・・」と聞いたところ、「金杯は市の最高齢者に贈呈することになっております」とのこと。その御年はなんと106歳！祖父にも次の目指す目標ができたようです。

祝100歳

小倉建設の創業から74年の歩み

その頃世の中では

1951年— 小倉 十四年(初代)26歳の時に一人大工として創業

(昭和26年)

なぜ大工を始めたのか？

「城や社寺建築を見て感動し、自分も後世に残るものを作りたい」という想いで始めました。

この年に小倉 義春(二代目)が誕生

十四年(56歳頃)

1975年— 義春(二代目)入社

(昭和50年)

当時、義春は滋賀県の農機具メーカー、ヤンマーに努めておりました。その頃、小倉では後継者がおらず悩んだ十四年は、ヤンマーへ突然訪問します。「ウチに跡取りとして帰ってきてくれ」と、義春と上司にも直談判。それから1年後に義春は故郷に帰ることになります。

ひげの生えていない貴重な義春(26歳頃)

【昭和50年施工のM様】

偶然にも今年の夏、M様よりリフォームのご依頼をいただきました。和室の床をフローリングに貼り替え。M様に当時の様子をお聞きすると「小倉建設の家は頑丈と評判で間違いない！と言われとったんで？この集落でも何軒も建つとるしのお」と聞かせていただきました。床のリフォームも使っていなかった和室が使い勝手が良くなりとても喜んでいただきました。

【昭和50年頃の小倉の家づくり】

当時は、柱などの材木は建材業者から購入するのではなく、施主所有の山を伐採して自社で製材して柱や梁を生産しておりました。それを大工が手刻みで加工し家を建てていました。レッカー車のない頃は全て人力作業、たくさんの人で上棟しておりました。

1977年— 一弥(三代目)誕生

(昭和52年)

一弥(2歳頃) 右が一弥、真ん中は母。

1985年— 小倉建設も社員旅行でつくば科学万博(茨城県)へ行っておりました。さて、どれが十四年と義春が分かるでしょうか？正解は…下段右から5人目が十四年、同じく右から3人目が義春。

1989年— 有限会社 小倉建設として法人化

(平成元年)

オグ嫁

その当時は定年60歳の時代でしたが、十四年は64歳。今から考えてみると定年退職後の人が社長となり、そこからさらに突き進む生き様が真似できないと思いました。

3%の消費税制度が始まる

王貞治さんが、本塁打756本の世界新記録を達成

小倉建設の創業から74年の歩み

その頃世の中では

1997年— 一弥が入社

(平成9年)

【昭和から平成初期の小倉の家づくり】

新型の製材機を導入。十四年の念願だった大きな原木(直径1m近いものも)が自社製材可能に。当時、小倉は他社より大きな梁や柱を使用することが評判となっていきます。

▲もう一つの売りが自社大工による彫刻。松竹梅を彫刻した玄関部分のアップ。

【平成9年施工のK様】

大きな木材と彫刻のある和風住宅といえ小倉建設。大工さんの腕が良いと評判でした。ウチもお願いしてから1年以上待って建ててもらいました(笑)。それから25年経って木彫りも黒ずんできたので相談したら、塗装修繕していただきました。今でも大事に住んでおります。

2013年— 義春が二代目社長就任

(平成25年)

バブル崩壊後、2000年頃から住宅着工数も減少。それまでは和風住宅一辺倒だった小倉も洋風住宅、そしてリフォームも手がけていきます。

【平成27年施工のT様】

ご縁があって小倉さんに依頼しました。三代目が打合せなど提案してくださり、二代目は現場で実直に工事管理、大工さんも皆さん良い方で安心して依頼できました。その後も家周りの困りごとを相談して解決してもらってます。

築50年の家の玄関を大改修。リビングには薪ストーブも。

2021年— 一弥が三代目社長就任

(令和3年)

【平成後期から令和の小倉の家づくり】

これまで職人はじめ男性が中心だった家づくりに、設計やコーディネート面で、女性チームも加わりました。男性職人の力強さと女性チームの細やかさが調和する、やさしい家づくりを進めています。

感謝

【平成7年施工のO様からのお言葉】

小倉建設さんが内覧会とかニュースレターなどの情報発信を始めたのは意外でした。ニュースレターも2か月に1回ペースでの発行なんて途中で止めると思ってました。ところが継続され今では届くのが楽しみになりましたわ。

【平成29年施工のF様からのお言葉】

初代(十四年)や、二代目(義春)の頃は正直、小倉さんは数居の高いイメージがあり、新築で立派な和風建築かしかなと思っていました。だからリフォームとかしてくれんのんじやろうと勝手に思ってたが(苦笑)、我が家もリフォームしてもらって、とても快適でお洒落になりました。地元で相談できる工務店さんがあるのは心強いです。

小倉三代目より

祖父の代から続き74年。地元の皆様からのご愛顧に感謝しかありません。家は建てて終わりではなくそこから新しい始まりでもあらと改めて実感します。人間の身体と同じ様に、家もメンテナンスが必要なので些細な事でもご相談ください。そして時代の移り変わりとともに、住まいのあり方も変化してきます。その方の想いに寄り添い、安心して任せていただける工務店を目指します。これからも地域の皆様の幸せな住まいづくりをサポートします！

そして次の十四年の目標は金杯をいただくことです(笑)

一級建築設計事務所

(有)小倉建設

〒729-1405 広島県三原市大和町上徳良 4015

E-mail:ogu-ogu@mail.mcat.ne.jp

TEL:0847-33-1566

FAX:0847-33-1588

ブログ更新中!

小倉建設 三代目

検索

ホームページこちら!

三原市 小倉建設

検索